



# アグリ情報 ちば

## Agri Information CHIBA



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**  
**安心で結ぶ懸け橋** になります。

千葉の花いっぱいプロジェクト



### CONTENTS

#### 全農自己改革

- 畜産事業の生産基盤の維持・拡大と販売力強化

#### 営農情報

- サツマイモ基腐(もとぐされ)病に注意

#### 園芸情報

- 販売経過および情勢

#### 米穀情報

- 米穀情勢について

#### 肥料情報

- ペースト側条施肥 理想の水稲栽培を実現!

#### 資材情報

- 系統園芸用パイプハウス補償制度について

#### トピックス

- 令和2年度後期技能検定農業機械整備作業(実技)講習会開催
- 令和2年度ちばアグリトップランナー経営塾を開催
- 「千葉は野菜の宝庫! ベジ王国千葉 野菜を食べて応援しよう!」フェア開催

#### お知らせ

- どうなる? 准組合員の事業利用規制

全力結集で挑戦し、  
未来を創る全農自己改革の  
取組状況

畜産事業

生産基盤の維持・拡大と  
販売力強化

## 1. 房総ポークの生産維持・拡大と販売力の強化

## (1) 取組目標と内容

- ア. 千葉県の系統造成豚ポウソウL4を基礎豚とし、生産性向上と品質の安定化をすすめています。
- イ. 生産頭数を維持・拡大するため、全農ミートフーズと連携して販売力を強化し、生産者手取りの向上を目指しています。
- ウ. 生産者の高齢化、後継者不足に伴う廃業が続く中、廃豚舎の活用と規模拡大生産者とのマッチングを行い、生産頭数の確保を目指します。



## (2) 自己改革の進捗状況

- ア. 基礎豚として令和元年上期に系統造成豚ポウソウL4への統一が完了し、上物率も8%改善し品質が安定しました。
- イ. 房総ポークの知名度向上と販売力強化を目的に、地元メディアでの販促活動を行いました。
- ウ. 東日本くみあい飼料との連携により、廃豚舎のマッチング推進を行いました。カップリングまでには至りませんでした。

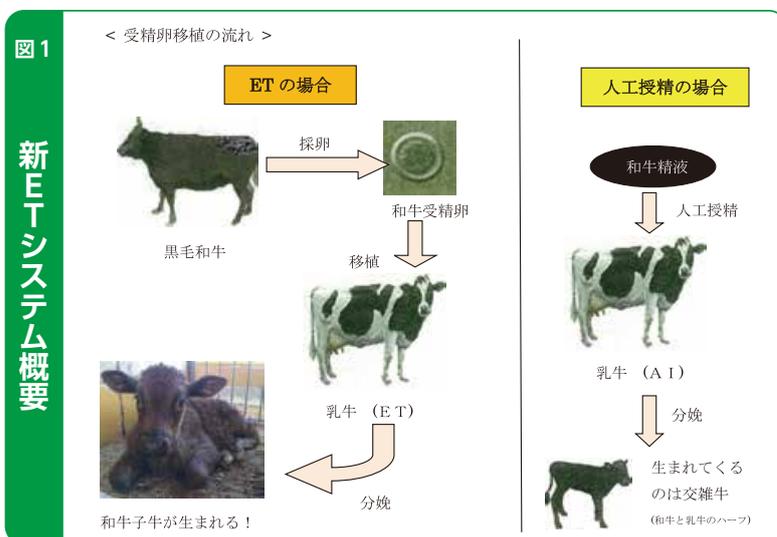
## 2. 酪農の生産基盤維持・拡大

## (1) 取組目標と内容

- ア. 酪農コンサルタントとの巡回指導により、飼養技術および生乳生産の向上をはかります。
- イ. 和牛受精卵移植（新ETシステム）※<sup>1</sup>により繁殖成績の向上および、和牛子牛（副産物）を生産することで生産者所得の向上に寄与します。
- ウ. 定期的な乳質検査を提案し、生乳ロスの原因となる疾病「乳房炎」の減少に取り組めます。

## (2) 自己改革の進捗状況

- ア. 酪農コンサルタントとの巡回指導（生乳出荷8JA：毎月）
- イ. 新ETシステムによる和牛受精卵移植（令和元年度実績：4JAの267頭へ移植）
- ウ. 乳質検査を実施し乳房炎の発症予防（令和元年度より3JAで実施）



# サツマイモ生産者のみなさんへ サツマイモ基腐（もとぐされ）病に注意

サツマイモに大きな被害を与える基腐病が、県外の産地で発生しています。県内での発生を防ぎましょう。

## 1. 他県での発生状況

千葉県ではまだ発生が確認されていませんが、沖縄、宮崎、鹿児島、福岡、長崎、熊本、高知、静岡、および岐阜の全国9県（令和3年2月10日現在）で発生が確認されています。一度病気が侵入すると防除は困難であるため、未然の侵入防止が大切です。

## 2. 病気の特徴

- ヒルガオ科（サツマイモなど）にのみ感染します。
- 苗床では基部の黒変、地上部の葉巻や萎縮症状等が見られます。



葉巻、株の萎縮

葉の変色

株元の茎の黒変

種いも腐敗、苗基部の黒変

- 感染した株は茎の地際部が黒～暗褐色に、茎葉は黄色や紫色に変色してしおれ、症状が進むと枯死します。
- いもでは主に、なり首側から腐敗します。



ほ場での生育不良株（定植後40日頃）

いも側へ進む病徴(8月)

感染したいもの腐敗

### 3. 防除対策

主に感染した種いもや苗を通じて病原菌がほ場に広がり、ほ場に残った未分解のり病残さが次作の伝染源になると考えられています。

#### (1) ほ場に持ち込まない対策

- 種いもや苗は腐敗や傷、病斑がないか確認し、健全なものを使う。
- 植付け前に下記の農薬で苗を消毒する。

薬剤名	倍率	使用方法
ベンレート水和剤	500～1000倍	30分間苗基部浸漬
ベンレート T 水和剤20	200倍	30分間さし苗基部浸漬

※薬液は、採苗日ごとに調製し、当日中に使い切ること。

#### (2) ほ場で増やさない対策

- 早期発見が重要。茎葉が地上部を覆う前にほ場をよく観察する。
- 疑似症状を発見したら、早期にほ場から除去し処分する。
- 水はけが悪いほ場で発病しやすいので、植付前に排水対策を行う。

#### (3) ほ場に残さない対策

- 残さはできるだけほ場から持ち出し、収穫後は地温が高く、土壌水分があるうちに耕うんし、残さの分解を促す。
- 連作は土壌中の病原菌の密度が高まるので、他作物と輪作する。

本資料及び写真は、農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業（01020C）令和元年度版マニュアル「サツマイモ 基腐病の発生生態と防除対策」を基に作成しています

詳細は千葉県ホームページをご確認ください。

**千葉県ホームページ「サツマイモ基腐病に関する情報」**

URL : <https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokubo/kansyo.html>



## 園芸情報

## 販売経過および情勢

## 青果物 1月の販売経過

1月の天候は上旬を中心に強い寒気が流れ込み、全国的に気温が低くなったものの、下旬には寒気がゆるみ月の前半と後半の気温差が大きくなりました。上旬は東日本の日本海側を中心に記録的な大雪となり、月の降水量は北海道や東海、近畿などでも平年より多くなりました。一方、日照時間は西日本の日本海側でかなり多くなりました。

1月の東京都中央卸売市場の野菜入荷量は、12月中旬以降の冷え込みの影響を受けた品目が多く、全体では前年の95%となりました。そのなかで中旬以降の気温上昇により数量増となったトマトときゅうりや前年の台風の影響を受けたにんじんは前年を上回る入荷となりました。低温や干ばつの影響から生育が遅れたねぎ、だいこん、キャベツ、レタス類等の露地野菜は、前年を下回る入荷となりました。

価格は、全体では前年の106%となり、入荷量が減少したキャベツ、ねぎ、だいこん等は前年を上回る一方、中旬以降安定した入荷が続いたトマト、きゅうり等の果菜類は前年を下回りました。

国産果実の入荷量は、全体では前年の107%となりました。普通みかんやりんごの「ふじ」、いちごの「とちおとめ」「あまおう」等は、前年は天候不順の影響で入荷減でしたが、本年は前年を上回る入荷となりました。

価格は、全体では前年の97%となり、生育が順調な「普通みかん」や下等級比率の高いりんご、作型のりレーが順調に進んだ「とちおとめ」を中心としたいちご等は前年を下回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

## 東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（1月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	31,803	102	265	99
中 旬	37,876	89	241	109
下 旬	43,891	96	244	109
月 計	113,570	95	249	106

※上・中・下旬のデータは概算であり、月計と合わない場合があります。

## JA全農ちばの販売状況（1月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	28,912	91	172	113	4,963	102
果 実 計	248	136	1,200	81	298	110
だいこん	7,518	92	82	115	618	106
にんじん	8,481	114	129	107	1,091	122
キャベツ	3,881	58	99	135	350	78
ほうれん草	178	102	489	115	87	117
ね ぎ	1,588	78	422	161	670	125
春 菊	136	99	881	111	120	109
レ タ ス	768	93	201	95	154	88
パ セ リ	27	79	871	91	23	72
な ば な	135	123	748	91	101	112
きゅうり	1,427	101	358	71	511	71
ト マ ト	318	103	267	94	85	97
さつまいも	2,526	103	241	115	609	118
い ち ご	248	136	1,200	81	298	110

## 2月主要品目 作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は  
東京都中央卸売  
市場の集計です

品名	入荷量 (t)		価格 (円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	やや少	16,495	やや高	59	愛知 千葉 神奈川	各産地ともに低温・乾燥の影響から小玉傾向となり前年をやや下回る出荷が続く見込み。販売は業務需要の低下から予断を許さないが、前年をやや上回る価格を見込む。
だいこん	やや少	11,082	やや高	69	神奈川 千葉	千葉・神奈川ともに生育に遅れが見られ、入荷は中旬まで少ない見込み。そのため引き合いがある中での販売となるが、下旬以降増量となるため弱めの展開を見込む。
にんじん	やや少	6,009	やや高	118	千葉	千葉の生育は、年内の好天から前進しており例年より早めの減少が見込まれる。太物の比率も比較的low、今後も出荷増が見込めないなかで堅調な価格が期待される。
トマト	並	4,796	やや安	428	熊本 栃木 愛知	冬春作の生育は近在産地で遅れが見受けられるが、作柄は概ね順調。一部で灰色カビ病が散見される。今後の天候によるが中旬以降は主産地で数量が増加する見込み。
きゅうり	やや多	4,663	安	450	宮崎 高知 千葉	全国的に生育は順調で、2月の気温・日照量は比較的多い予報から、入荷量は平年をやや上回る見込み。本年は恵方巻需要も振るわず価格は高値の前年を下回る見込み。
ねぎ	やや少	4,614	高	207	千葉 茨城	干ばつや霜害により太物比率が前年より少なく、出荷量は伸び悩む。高値疲れはあるものの、関東近在産地が同様の状況のため、大きな値崩れのない販売となる見込み。
ほうれん草	少	1,703	並	403	群馬 茨城 埼玉 千葉	低温と干ばつの影響で生育にやや遅れが見られる。入荷量は多かった前年を下回るが平年並みで、価格は前年並みを見込むが、気温が上昇すれば荷動きの停滞が懸念される。
パセリ	やや少	54	やや安	853	千葉 静岡 岡山	全国的に1月の寒波により生育が停滞しているため、出荷は前年を下回る見込み。飲食店の時間短縮営業による影響で引き合いは弱く、価格は前年を下回る見込み。
春菊	やや多	256	やや高	522	千葉 栃木 茨城 宮城	関東主産地の作柄は良好で、台風被害のあった前年を上回り平年並みの入荷を見込む。価格は暖冬で鍋需要が振るわず安値となった前年を上回る見込み。
レタス	やや少	6,256	やや高	157	静岡 茨城 香川	低温の影響から前半は少なめだが、後半は茨城の増量から軟調な販売が予想される。入荷量は多かった前年を下回り、価格は安値の前年を上回る見込み。
なばな	多	403	やや安	851	千葉	干ばつ傾向の生育から細目の出荷もあるが、入荷は前年を上回る。前進傾向で気温変化によっては中下旬のピークが見込まれる。
さつまいも	並	2,818	並	229	千葉 茨城	べにはるかを中心とした出荷となるが、天候不順の影響もありサイズはやや小ぶり等で下位等級の発生が多い。量販店の需要が安定しており平年並みの販売を見込む。
いちご	並	4,648	並	1,431	栃木	2月上旬に各地2番果房の出荷がピークとなる見込み。端境で極端な入荷変動があった前年と異なり、1月より安定した出荷および価格推移で、順調な引き合いを見込む。

# 花 販売情勢

## ◆1月の販売経過【切花】

1月の業務筋での販売については、コロナ禍において葬儀様式が家族葬や一日葬の縮小形態に変化したことから、菊類やカトレアなどは単価安となりました。更に緊急事態宣言の発令により、1月下旬以降に予定されていたブライダルも再延期を余儀なくされたことや、年末年始の行事等の中止も重なったことから、洋花全般の動きも鈍く、単価安となりました。

中旬以降は寒波による生育遅れと雪害等の影響から、各産地からの入荷は減少したものの、業務需要の低迷から単価が上向きになることはなく、厳しい販売が続きました。

一方、一般消費者向けの販売は、昨年引き続き住宅街の小売店を中心にインテリアなどとしての動きが好調で、正月明け以降も活発な取引が行われ、安定した販売となりました。

## ◆今後の見通し（3月）【切花】

例年の3月期は、仏需要での繁忙期にあたる春の彼岸を中心に、歓送迎会、卒業式等の年度末需要もあり、和花、洋花ともに中旬以降において花きの最需要期となります。

本年においては、今後の新型コロナウイルス感染拡大による影響にもよりますが、昨年と同様に各種イベントの中止または縮小が懸念され、花き全般において厳しい販売環境となる可能性があります。

一方で、昨年を振り返ると、コロナ禍においてもお盆・彼岸・年末といった墓参りを主とした仏花需要は多くあるため、現時点では3月彼岸需要期はある程度の消費が見込まれます。



## ◆今後の見通し（3月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
ス ト ッ ク	山形は出荷終盤期となり千葉の出荷が主力。 各産地ともに生育は順調で安定した入荷を見込む。 彼岸需要を中心に安定した販売を見込む。
キンセンカ	千葉の出荷が主力。 高齢化から作付面積の減少が進んでおり出荷量は平年を下回る見込み。 彼岸需要を中心に安定した販売を見込む。
カーネーション	千葉・愛知・長崎の出荷が主力。 一部産地で生育遅れがあるものの、平年並みの出荷量を見込む。 輸入品に関しては、新型コロナウイルスによる空便の欠航等から平年を下回る入荷が見込まれる。
キンギョソウ	千葉・埼玉の出荷が主力。 各産地とも生育が順調で、3月中旬以降の需要期に向けピークを迎え、安定した入荷を見込む。例年、気温上昇による品質低下が懸念されるため品質差による価格差が顕著となる見込み。

# 米穀情勢について

## 1. 令和3年産飼料用米への取り組みについて

千葉県では、令和3年産での需給緩和による米価下落への懸念がある中で、過去最大級の飼料用米等への作付転換が必要な状況にあることから、生産調整に係る県助成について、国の新たな支援策と連携し、取組面積の拡大がはかれるように助成単価が見直されました。

### (1) 国の新たな支援策（都道府県連携型助成）

都道府県が飼料用米等の生産を新たに拡大する農家を支援する場合、国が追加的に支援を行います。

助成単価：都道府県の助成額と同額（上限5,000円／10a）

### (2) 県助成の見直しの基本的な考え方

ア. 新規の転換拡大に対し、国の支援策を活用しながら、県の支援を更に拡充

（主食用品種：前年産＋1,000円）

イ. 取り組みの継続に対し、県の支援を拡充

（多収品種・主食用品種：＋500円）

### 令和3年産の県助成単価の見直し（案）

（単位：円／10a）

		令和2年産	令和3年産	増減
取組拡大 【初年度】	多収品種	10,000	10,000	0
	主食用米等	5,000	6,000	＋1,000
取組定着 【2年目以降】	多収品種	3,000	3,500	＋500
	主食用米等	1,500	2,000	＋500

※令和4年産以降は、国の支援策の動向を踏まえ対応を検討します。

※転換面積を令和2年度実績より減らした場合は、助成単価を減額します。

### (3) 新たに飼料用米に取り組んだ場合の収入見込み

千葉県農業再生協議会は、生産者向けにリーフレットを作成し、飼料用米における10a当たりの収入見込みを試算しました。JA全農ちばとしては、JAや地域農業再生協議会と連携し、支援策に関する情報提供等を行います。また、飼料用米は令和2年産米より複数年契約を締結することにより、12,000円／10aが助成される仕組みに変更されていますので主食用米から飼料用米等への作付転換を積極的に推進します。

コロナ禍による業務用需要の減少も想定されるため、業務用向け中心に販売されているふさがね等の品種を活用した作付け転換をお願いします。

## 飼料用米に取り組んだ場合の収入見込み（10a当たり）

（単位：円）

	主食用米	飼料用米	飼料用米
収穫量（kg）	544	544	604
販売単価（円／60kg）	12,000	600	600
販売収入	108,800	5,440	6,040
【国】戦略作物助成（※）	—	80,000	90,000
【国】産地交付金 生産性向上の取り組み（複数）	—	3,800	3,800
【国】産地交付金 複数年契約の取組	—	12,000	12,000
【県】飼料用米等拡大支援事業 拡大支援型	—	6,000	10,000
【国】都道府県連携助成	—	5,000	5,000
【市町村】市町村助成	—	$\alpha$	$\alpha$
合 計	108,800	112,240 + $\alpha$	126,840 + $\alpha$

※区分管理方式で収量が地域の標準単収より上回れば増額されます。（標準単収+150kg／10aの場合、105,000円）

※収穫量544kgは千葉県平均単収

千葉県農業再生協議会作成

## 2. 令和3年産政府備蓄米の買入入札について

令和3年産政府備蓄米の第1回入札が1月26日に実施され、年間買入予定数量207,000トンに対し、205,233トンが落札されました（落札率99%）。

県別優先枠買入予定数量185,314トンに対して309,242トンの応札があり、183,537トンが落札されました。

一般枠については、買入予定数量21,686トンに対して、75,547トンの応札があり、全量落札となりました。

千葉県優先枠の買取予定数量3,985トンに対し、15,100トンの応札があり、全量落札されました。

令和3年産では、新型コロナウイルス禍で業務用を中心に需要が落ち込み、需給緩和による米価下落への懸念がある中で、数量や価格が見通せる備蓄米への確保に向け、初回から意欲的に応札される結果となりました。なお、千葉県優先枠は買入は終了しましたが、西日本を中心とした優先枠の残り1,777トンについては、第2回入札として2月16日に実施されます。

※優先枠とは都道府県別に入札枠を設け、他県と競合することなく優先的に入札できる数量

※一般枠とは、都道府県別の指定のない数量

## 令和3年産政府備蓄米入札結果（第1回 1月26日）

（単位：トン）

産 地	令和3年産			令和2年産	落札率 ②／①	残数量 ①－②
	買入予定 数量①	第1回（1月26日）		落札 合計数量		
		応札数量	落札数量②			
千葉	3,985	15,100	3,985	3,985	100%	0
県別優先枠計	185,314	309,242	183,537	176,014	99%	1,777
一 般 枠 計	21,686	75,547	21,686	30,986	100%	0
合 計	207,000	384,789	205,223	207,000	99%	1,777

### 3. 水稻生産者（飼料用米を含む）の皆さまへ

#### イネばか苗病対策に御協力願います！

県下全域でイネばか苗病が問題となっています。  
本病を発生させないために、以下の対策に取り組みましょう。

##### ◆種子消毒の徹底

特に効果の高い化学合成農薬（ヘルシードTフロアブルなど）を使用し、ラベルに記載の希釈倍率や消毒液の温度（10～15℃）を厳守するなど、適切な方法で種子消毒しましょう。

##### ◆保管・播種・浸種・育苗場所の清掃と資材の消毒

ワラや籾殻、米ぬか等も伝染源になります。

##### ◆種子更新の徹底

やむを得ず自家採取する場合、発病ほ場や周辺で発病のあったほ場からは絶対に採種しないでください。

##### ◆発病育苗は、そのまま使用しない

苗箱で発病を見つけたら、発病苗とその周りの苗を抜き取り、周辺への感染を防ぎましょう。採種ほ周辺では、移植後も発病するおそれがあるため、発病苗箱の苗は移植しないようにしましょう。

ばか苗病の発生や、発生が疑わしい場合は、JAや農業事務所に御相談ください。

#### 特定外来生物 「ナガエツルノゲイトウ」

#### 繁殖が旺盛で拡がりやすいため早期駆除を！

水路での拡がり

水路一面に拡がり、水路をふさぎます

群落

水中～陸上まで生育できます

ナガエツルノゲイトウの葉と花

特徴：花茎が長い

ナガエツルノゲイトウが確認されている湖沼・河川 **赤色**

侵入が確認された地域

県北地域で拡がっています

#### 注意点

- ★定着すると防除が困難なので、写真を参考に**早期発見**に努め、小さいうちに丁寧に抜き取るなど、**徹底除草**で防ぎます。
- ★特定外来生物なので、除草した後は**その場で枯死させた上で処分・運搬**してください。
- ★水系に拡散させないために、草刈り時に落下した茎断片が水路に流れ込まないように注意してください。

**肥料情報**

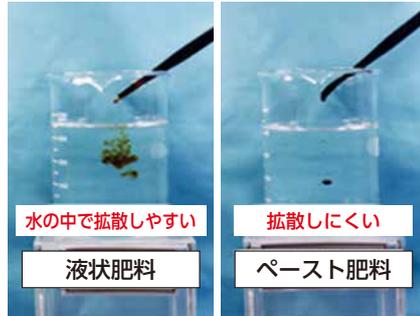
# ペースト側条施肥 理想の水稻栽培を実現！

## ペースト側条施肥の特徴とは？

- 土壌中で拡散しにくく養分吸収の良い濃厚ソース状の肥料。
- 専用ポンプ付き田植え機で、正確な田植え同時側条施肥が可能。
- 深層施肥により、従来の肥料より安定した肥効発現が期待される。



### ペースト肥料と液肥の水中での比較



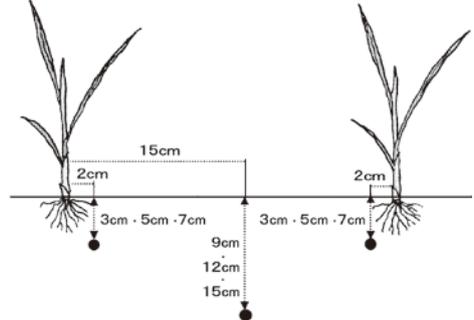
水中で拡散しやすい

液状肥料

拡散しにくい

ペースト肥料

### ペースト施肥位置（2段施肥の場合）



## ペースト肥料のココがすごい！

### 抜群の初期生育！

有効茎を早期に確保！  
田面のアオミドロの発生も少ない



慣行区

ペースト区

### 作業の軽労性・安全性を確保！

大型規格タンク品から  
ポンプ補給で省力化！



### 雨天時でも田植えが可能！

専用田植え機で側条施肥  
天候に左右されない計画的な  
田植えが可能



## ペースト肥料おすすめ銘柄

品名	保証成分			備考
	チッソ	リン酸	カリ	
ネオペースト 1号	12	12	12	水平型肥料、全品種対応
ネオペースト 2号	10	16	12	山型肥料、コシヒカリ向け
ネオペースト SR 502	15	10	12	緩効性チッソ入り 二段施肥機で穂肥省力が可能
ネオペースト SR 588	15	8	8	緩効性強化タイプ 一段施肥機でも穂肥省力が可能
まるやかLペースト	15	8	8	低コストL型ペースト・元肥用
フレーバーペースト	7	3	4	有機態チッソ50%（エコ米等）

詳しい使い方については千葉県指導機関またはJAにお問合せください

**KCCC** 片倉コープアグリ株式会社 URL : <http://www.katakuraco-op.com/>

## 資材情報

## 系統園芸用パイプハウス補償制度について

本制度は園芸用ハウスに被害を受けた時に、施設園芸生産者が速やかに営農を継続できるよう、新築の園芸用パイプハウスの**完成引渡し後3年間の補償を行う商品付帯型のサービス**です。

引渡し後3年間に発生する風・ひょう・雪・落雷・水災等の自然災害やその他偶発的な事故による様々な損害を被った際の修繕費用を補填するものです。（引受保険会社：共栄火災海上保険株式会社、保険種類：動産総合保険）

## 系統園芸用パイプハウス補償制度の概要

## 1. 対象物件

全農が指定する業者で全農を通じて販売した全ての園芸用パイプハウス

※パイプハウスと同一工事で施工された場合は、付属設備も含まれます。

※全農指定メーカーによる工事付物件が対象です。

※免責額を下回る価額のハウスは除きます。

## 2. 加入手続き

全農を通じて購入いただいたハウスは**自動的に保険を付保しています**。お客様は特別な手続きは必要ありません。

## 3. 補償制度の主な内容

ア. 補償内容：詳細は下表をご参照ください。

イ. 保険金額は残存価値とし、下記のとおり設定します。

1年目：販売価格の100% 2年目：90% 3年目：80%

※ハウスの残存価値は年10%減少するものとみなします。

※補助金制度が公表された場合、補助金の申請が必須となります。

ウ. 縮小支払割合：時価損害額×70%

エ. 被覆材の単独損害について

ビニールフィルム等の**被覆材の単独損害は補償対象外**（下記を除く）となります。

**厚さ60μm以上のフッ素フィルム、耐用年数10年以上のプラスチックフィルム**  
 （耐用年数10年以上のプラスチックフィルムはメーカーカタログ等で確認できるもの）

## 系統園芸用パイプハウス補償制度の補償内容

補償期間	物件引渡日から3年間			
補償の種類	火災・爆発	風・ひょう・雪	その他の偶然な事故	台風・暴風雨による水災
補償内容	火災・落雷・爆発によって被った損害	風・ひょう・雪害によって被った損害	いたずら、航空機の墜落・接触、車輛の衝突・接触、騒じょうなどの偶然な事故によって被った損害	水害によって被った損害
免責額等	時価損害額（※）が10万円を超えた場合に保険金の対象となる			保険金額の2%相当額（最高10万円、最低1万円）
縮小支払割合	時価損害額 × 70%			
費用保険金	1. 臨時費用保険金：損害保険金の30%（1事故300万円限度） 2. 残存物取付け費用保険金：実際に支出した費用（損害保険金の10%限度）			
保険金をお支払いできない主な場合	1. 故意、重過失による損害 2. 地震、噴火、津波による損害 3. 自然消耗、欠陥、カビ、さび、変色その他類似の事由またはネズミ食い・虫食い等による損害 4. パイプハウスに加工を施した場合、加工着事後に生じた損害 5. 修理中、清掃中の技術の拙劣または過失による損害			

※時価損害額は、実際の修理金額のうち引受保険会社が認めた金額（認定損害額）に対し、引渡後の経過年数に応じて以下のとおり、算出されます。

経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満
時価損害額	新価認定損害額×100%	新価認定損害額×90%	新価認定損害額×80%

※上記、補償内容が適用されるのは、2020年10月から2021年9月末までに引渡されたパイプハウスに限ります。引渡し後2021年10月以降となった場合、補償内容に変更が生じる場合があります。

お問い合わせは、お近くのJAまたは  
**JA全農ちば資材課（043-245-7379）** へご連絡ください。

## TOPICS

# 令和2年度後期技能検定 農業機械整備作業(実技)講習会 開催



トラクタの点検を行う参加者



不具合箇所の整備について説明するJA全農ちば職員

1月13日(水)、JA全農ちばは南総センターにおいて「令和2年度後期技能検定農業機械整備作業(実技)講習会」を開催しました。

この技能検定「農業機械整備技能士」は、国が一定の基準による検定を実施することで、農業機械の整備技能と社会的地位の向上を目的に行われる国家検定制度です。技能検定の1級合格者には厚生労働大臣から、2級合格者には知事から合格証書が交付されます。

講習会当日は、7名(JA職員2名、農機メーカー5名)が参加し、農業機械のメンテナンスに対する課題に取り組みました。参加者からは、本試験(令和3年1月31日)にむけ注意すべき点などの質問が寄せられ、試験合格にむけた熱意が感じられました。

JA全農ちばは、今後もJA農機担当職員の育成に向けた取り組みを進めてまいります。

## TOPICS

# 令和2年度 ちばアグリトプランナー経営塾を開催

JA全農ちばは、千葉県農業者総合支援センターと共催し、1月15日(金)に「令和2年度ちばアグリトプランナー経営塾」を開催しました。

この経営塾は、何から手を付けたらよいかわからないことが多い経営について学び、さらに生産者にとって「自らの未来を切り開いていくための仲間」を見つけ、人との繋がりが出来る機会となるように企画されました。

この経営塾は、全4回のカリキュラムとなっており、最終日にはカリキュラムをとおして生産者が考えた経営プランを発表する機会も予定しています。

第1回目となる今回の講義は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインでの開催となりましたが、自らの未来を切り開く「課題解決」と「意思決定」を学ぼうと熱い気持ちを持った30名の若手生産者とJA営農指導員、JA全農ちば職員が参加しました。

はじめに、受講生の自己紹介を行い、①プロフィール、②どのような農業をしているか、③この塾で何を得たいと思っているかを発表し、共に学んでいく仲間を知る機会としました。オンラインの“拍手ボタン”を活用するなど、WEBでも受講生の参加意識が高まるよう工夫しながら進行了ました。

次に、栃木県の阿部梨園マネージャーで、FARMSIDE WORKS代表の佐川友彦氏から「経営プランはなぜ必要か」について講義していただきました。また、「自分の経営について考える」ワーク実践も行い、充実した経営塾となりました。

受講生は自発的に発表し、講師の意見を熱心に聞くなど、少しでも経営に役立つスキルを身に付けようと真剣な表情で取り組んでいました。

## TOPICS

# 「千葉は野菜の宝庫！ベジ王国千葉 野菜を食べて応援しよう！」フェア開催

J A全農ちばは、柏高島屋とタイアップして1月13日（水）～2月2日（火）の期間中に柏高島屋ステーションモールで千葉県産青果物をPRしました。20店舗のレストランや喫茶店には、地元・柏市で生産されている“かぶ”、生産量全国1位の“長ねぎ”、全国でも主要産地である“きゃべつ”、“だいこん”の千葉を代表する野菜を使用したメニューが集結しました。



また、本館高島屋地下1階サンフレッシュ野菜売り場では「ベジ王国千葉 野菜フェア」も同時に開催され、レストランで提供された4品目を中心に千葉の野菜を販売しました。

さらに、1月は「いいきゅうりの日」にちなみ、ヴェルジェ（津田沼店他）、澤光青果（千葉ペリエ店他）で“きゅうり”と“トマト”の消費宣伝が22店舗で実施されました。

J A全農ちばは今後も卸売市場21社で構成される千葉会と連携し、千葉県・（公社）千葉県園芸協会と一体となり千葉県産青果物の更なる認知度向上と消費拡大を図るため「千葉県青果物フェア」を積極的に開催していきます。引き続き、産地の皆様のご協力をお願いいたします。

## グルメレポート

### ●広島ミックス焼き～千葉県産きゃべつ使用～

お好み焼きならではのソースとマヨネーズの濃い味付けながら、その中でもきゃべつの甘みが強く感じられました。えびやイカなどの海鮮具材や広島焼ならではの卵と麺、そしてたっぷりの甘いキャベツ。鉄板焼きによる香ばしさが具材それぞれの旨味をさらに引き立て、大満足の一品でした。



### ●千葉県産かぶとえびのクリームソースパスタ

パスタが運ばれてくると、チーズの良い香りがマスク越しに伝わってきた。シャキッとしたかぶの食感とプリっとしたえびの食感、つるっとしたモチモチの麺…食感が楽しい一皿でした。濃厚なクリームソースにかぶの大人な苦みが心地よく感じられ、最後まで飽きることなくペロリとたいらげました。



### ●千葉県産かぶと鮮魚のカルパッチョ

釜めしをはじめ和風の料理が多い中で、今回のカルパッチョは存在感を放っていました。写真ではわかりませんでしたが、この一皿で満腹になれるボリュームがありました。ポスターの中でもとりわけ彩り豊かで目を引き、実物も写真と同じで各種鮮魚に加え、トマトにオレンジやグレープフルーツなど、華やかに盛り付けられていました。県産のかぶは見た目ではすっかり埋もれていました。ただ、食するとシャキシャキとした歯ごたえをしっかりと主張し、他の食材の旨味を引き出しており、かぶの無限の可能性を感じる一皿でした。



## JAグループ千葉統一広報

どうなる？



# 准組合員の事業利用規制

## 農業WGの意見

平成26年5月に当時の首相の諮問機関である規制改革会議農業WG（ワーキンググループ）が「（農協の）准組合員の事業利用は正組合員の事業利用の2分の1を超えてはならない」という意見を公表したのです。

この背景には、農業協同組合は農家の所得向上をめざすために「農業者のための組織であるべきだ」とする当時の政府の考え方がありました。この意見をうけて平成26年6月13日規制改革会議は、農協の組合員のあり方について次のように答申をしました。

「農協は、農業者の組織として活動してきたが、時代の変化の中で農業者ではない准組合員の人数が正組合員を上回り、信用事業が拡大するなど、農協法制定時に想定した姿とは大きく変容しているとの指摘がある。したがって、農協の農業者の協同組合としての性格を損なわないようにするため、准組合員の事業利用について、正組合員の事業利用との関係で一定のルールを導入する方向で検討する」

## 改正農協法の成立

私達は、このことが政府のめざす『農家の所得向上』にどうつながるのか理解できなかったのです。

加えて「政高党低」といわれていた官邸主導の農協改革に不満をもっていた議員からは、急進的な改革案に対する意見が続出しました。事態が紛糾するかと思われた矢先、あっけない幕切れとなるのです。

改正農協法附則第五十一条<第3項目>のポイントは、改正農協法が施行された五年を経過するまでの間調査を行い検討を加えて結論を得るとしているのです。このことから「5年後条項」といわれています。

## 〈当時の報道より引用します〉

平成27年2月1日

官邸は、自民党農林議員幹部に、次の提案を受け入れるように要求した。

- ①JA全中を一般社団法人化する
- ②JA全中が持っていた監査権限を民間公認会計士に
- ③地域農協の理事の過半数を経営や農産物販売のプロにする

いずれも「規制改革会議」が提言した内容で、党内の議論で慎重な意見が出たものばかりであった。当然、農林議員幹部が受け入れられるものではなかったが、官邸はこれを見越して四つ目の提案を準備していた。三つの項目を受け入れたら「准組合員の利用規制は先送りする」と言ってきた（農林議員）結果として、農林議員もこれを受け入れざるえなかった。

真偽のほどは定かではありませんが、これが、政・官・学を巻き込みさまざまな議論を経て、平成27年9月に改正農協法が公布。翌年、平成28年4月に施行されます。准組合員の事業利用規制については、下記にあるとおり改正農協法附則第五十一条三項に規定されました。

## 改正農協法附則第五十一条

（第1項・第2項）（略）

（第3項）

政府は、准組合員（新農協法第十六条第一項ただし書に規定する准組合員をいう。以下この項において同じ。）の組合の事業の利用に関する規制の在り方について、施行日から5年を経過するまでの間、正組合員（新農協法第十二条第一項第一号の規定による組合員又は同第二項第一号の規定による組合員をいう。）及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況について調査を行い、検討を加えて結論を得るものとする。

## 〈地域農業の応援団〉

私たちJAグループが目指すものは、准組合員を含めた地域の協同組合であることです。

## 改正農協法施行後

これまでの間、JAグループは、政府与党に要請・協議・説明を行いました。その結果、令和元年7月の第25回参議院選挙自民党の公約では「JAグループが創意工夫により取り組んでいる自己改革を後押しします。准組合員の事業利用に関する規制の在り方については農協組合員の判断に基づくものとします」となり、平成26年の「准組合員の事業利用は正組合員の事業利用の2分の1を超えてはならない」とする意見からは、JAグループは押し返したと言えます。

また、JAグループは、自己改革にかかる全組合員調査を実施し、回答者の約9割から「准組合員の事業利用の制限はすべきではない」という結果を得ています。

※JA全中が令和2年7月に公表した。「JAの自己改革に関する組合員調査」より抜粋。



## 令和二年七月 規制改革推進会議の答申

そして、再び局面は変わりました。令和2年7月17日に公表された規制改革推進会議は、准組合員の事業利用制限については触れず「これまでの農協の自己改革の中で准組合員の意思を経営に反映させる方策について検討を行い、必要に応じて措置を講ずる（改正農協法施行後5年（令和3年4月）を目処に検討・結論、必要に応じて速やかに措置）」と答申したのです。

准組合員の事業利用制限ではなく、准組合員の意思反映に論点が入り替わってしまっています。我々の目指す准組合員を含めた地域の協同組合という姿は崩されることはないのでしょうか。その結論は令和3年3月末以降に示されることとなります。



2021 **2月4月**まで

**営農用オイル特別推進期間**

**1** ディーゼル  
DH-2/CF-4  
10W-30



**オススメ**

4L・20L・200L

●最新の排ガス規制対応車両に適合したディーゼル用エンジンオイル。

**2** 2サイクル  
スーパーマルチ  
(25倍・50倍兼用)



**オススメ**

0.4L・4L・20L・200L

●ピストンやプラグの汚れを大幅に低減。  
●優れた耐焼き付き性能。

**3** SN スペシャル  
5W-30



4L・20L・200L

●品質とコストパフォーマンスを両立したエンジンオイル。  
●ターボチャージャー車にも適応。

**4** ディーゼル  
CF 10W-30



4L・20L・200L

●トラクターをはじめとしたディーゼル用エンジンオイル。

**5** ギヤ90 GL-5



20L・200L

●耐摩耗性・酸化防止性・コストパフォーマンスに優れ、自動車・農機のデファレンシャルギヤ用オイル。

**6** トラクターギヤ  
スーパーマルチ  
GL-4-75W-80



4L・20L・200L

●低温始動性に優れ、アイドリング時間を短縮。  
●高い潤滑性能が摩耗を抑え、機械の寿命を延ばす。

※古いオイルはエンジンやギアの寿命を縮めるだけでなく、パワー不足、燃費の低下につながります。

お問合せは **JA-SS・農機センター** までお願いします。  
注：オイルを取扱っていないJAおよびJA-SSもございます。事前にご確認ください。

**お知らせ**

J全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆様との情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

**アグリ情報“ちば”に係る個人情報の取り扱いについて**

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

**JA全農が提供するラジオ番組**



**TODAY'S AGRI NEWS**  
EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

6:30~6:35 毎週(月~金) **生放送**  
新鮮農業情報をお届けします。

あぐりずむ  
**WEEKEND**

9:30~9:50 毎週(土) **放送**  
生産者の熱い思いをお届けします。

**ZEN-NOH**  
COUNTDOWN  
JAPAN

13:00~13:55 毎週(土) **生放送**  
全国の農畜産物をプレゼントします。

JA全農ちば  
公式HP

JA全農ちば  
公式Instagram

